

## 富士総合火力演習研修支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 三上2陸尉）は、8月25日（木）、東富士演習場で行なわれた「平成28年度富士総合火力演習」研修を支援した。

同研修には、自衛隊協力会や募集対象者とその家族など約50名が参加し、特に初めて参加する募集対象者12名は、演習場の独特の雰囲気と多くの自衛官の勇姿に感動している様子が伺え、射撃音に驚きながらも最後まで真剣に見学をしていた。

募集対象者からは、「各火器の命中精度に驚くとともに、自衛隊の頼もしさを実感することができた」「自分も近い将来、仲間として一緒に頑張りたい」との声も聞かれた。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、一人でも多く自衛官を志願してくれることを期待し、多くの研修を支援していきたい」とつづける。

## 学校前にて市街地広報

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、8月26日（金）、横浜市港北区にある県立新羽高校の校門前にて市街地広報を実施した。

校門前には、自衛官募集のほりや各種自衛隊採用試験の締切りを知らせる看板を掲げるとともに、下校中の学生たちにチラシを配布した。チラシを受け取った学生からは、「暑い中ですが、頑張ってください」「まだ、進路が決まっていないので、視野に入れて考えてみます」との声も聞かれた。

横浜出張所は、「今後も定期的に市街地広報を実施し、優秀な人材の獲得に努めたい」としている。



校門前にて市街地広報

## 川崎市総合防災訓練に参加

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、8月28日（日）、川崎市多摩区河川敷で実施された平成28年度川崎市総合防災訓練に参加した。

同訓練は、市民団体や各種機関に加え、自衛隊からは第31普通科連隊など約1,800名が参加し、2ヶ所の会場に分かれて実施された。メイン会場では災害応急対策活動訓練、またサブ会場では、地域住民参加型避難所体験訓練が行われ、小雨交じりの天候ではあったが、一般市民などを中心とした多くの方が参加した。

自衛隊ブースでは、自衛隊の活動状況のパネル展示や災害派遣のビデオ上映をはじめ、非常用糧食の展示及び試食会を実施し、乾パンを試食した参加者は、「けっこうおいしいですね」と顔をほころばせていた。溝の口募集案内所は、「今後も多くの市民の自衛隊に対する理解を深め、防衛基盤の育成に繋げていきたい」とつづける。